

あなたの家は、震度6に耐えられますか？

自治会 防犯・防災委員
体験者が語る

横浜市木造住宅耐震改修促進事業の
工事費用補助制度(最大150万円)を利用して
わが家は、耐震補強工事をしました。



きっかけは・・・

阪神淡路大震災で姉や同級生たちが被災したこと、そして、たまたま美しが丘ケアプラザで市の説明会に参加したことでした。その説明会でわかったことは

- ①昭和56年以前に建てられた木造住宅は、国の耐震基準がゆるく、震度6レベルの地震で倒壊の危険がある。
- ②横浜市には、対象となる住宅に耐震補強工事の費用を補助する(最大150万円)制度がある。

補助対象となる住宅は

昭和56年以前に建築され、市の耐震診断の結果、総合評点 1.0 未満「倒壊の危険が(やや)ある」と判定された木造の個人住宅。



わが家は、昭和52年の建築。

とにかく**市の無料耐震診断**をうけてみることにしました。**その結果は、約3週間後に届きました・・・**

わが家は、「倒壊の危険あり」!?

総合評点0.43 (A×B×C×D×E×F)

A地盤・基礎 0.8 B建物の形 1.0 C壁の配置 0.9
D筋かい 1.5 E壁の割合 0.5 F老朽度 0.8

当時としては、筋かいは十分入れてありましたが、壁量、とりわけ南側の壁の量が非常に少なく、さらに10年前の改築時に東側の壁と柱の一部を抜いたことが、建物の耐震性を低下させた、との所見でした。

家族会議の末、(いたしかたなく)市の制度を利用して耐震補強工事を行うことを決断。

ハウススクエア横浜にある相談窓口で、申込書類と市の登録事業者名簿をもらい、その中で以前リフォームを頼んだことのある業者(設計・施工)を選択、依頼しました。➤

その後は、業者による改めて大がかりな耐震診断、費用の見積り、契約、という流れで、いよいよ家中をひっくり返す大変な工事が始まりました。(市への申請等はすべて業者が行います。)

どんな工事？・・・

わが家の場合、おもに、3種類の工事でした。

①<壁の補強>

(開口部を減らし、筋かいや合板で壁を補強する)

南側の掃出し窓の1つをやや小さな2つの縦長の窓に変え、またキッチンから庭に出るドアをなくして、不足していた南側の壁量をふやしました。

②<基礎の補強>

(無筋コンクリート基礎に添えて、鉄筋の基礎を作る)

数カ所の基礎を鉄筋コンクリートに。

③<接合部の金物補強>

柱、筋かいの接合部が折れたり、抜けたりしないように、専用のプレート状金具などで土台に固定。

他に耐震補強の方法としては、

④<屋根の軽量化> (瓦からスレートや金属板に)

⑤<建築部材の取り替え>

(腐ったり、白アリ等の被害のある部材を交換)

などがあります。



費用は??

もちろん住宅の広さや形、老朽度や地盤の固さなどにより、それぞれの家で改修の程度は異なるので、費用については一概に言えません。

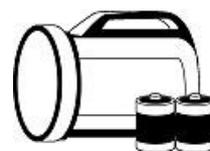
が・・・、耐震設計と補強工事で、通常およそ300万円から500万円とされています。

命に関わるとはいえ大金です。わが家の場合、家の修繕費用としてプールしていた資金プラスαと市の補助金で、なんとかしのぎました。

まずは、無料耐震診断をうけましょう。

壊れてから直そうか・・・でも、 大地震発災。その時、何歳？

わが家は60代目の夫婦に社会人1年生の娘。
地震で壊れてから直すことも考えましたが、その時、
自分たち夫婦は何歳で、どんな状態か？娘は・・・？
あれこれ考え、経済的・体力的に、そこそ余力のあるうちに改修工事をしようと考えました。
(家のリフォームは、体力も必要です。)



横浜市の無料耐震診断を うけるには・・・

1. 横浜市まちづくり調整局発行
「木造住宅耐震診断士派遣制度のご案内」
パンフレットをもらう。
区役所・行政サービスコーナー・地区センターにあります。
2. パンフレット裏表紙の往復はがきで申し込む。
<問合せ>
●横浜市建築事務所協会「木造耐震診断」係
☎045-662-2711
受付時間 平日9:00～12:00 13:00～16:00
●横浜市コールセンター
☎045-664-2525
受付時間 平日8:00～21:00 (土日祝日を含む毎日)

工事終了とおまけ



およそ1カ月後、工事は無事終了。
総合評点1.0～1.5「一応倒壊しない」という横浜市
の有難いお墨付きと、上のシールをいただきました。
工事のおまけは、はがした壁や床を新調して、家中
きれいになったこと。そしてまあまあの「安心」。

もっと安く(?)耐震補強する方法は

市の補助金を申請せず、工務店など業者が提案する耐震補強工事を(予算と相談しながら)する方法もあります。市の検査にパスするほどの工事をしなくても、専門家が、これでまず大丈夫と保証(?)します。



まずは無料の耐震診断を

横浜市内には、昭和56年以前に
建てられた住宅が、約19万軒。
震災時、悪くすれば、仮設住宅で

の生活。また、家が傾いたために隣家に被害をもたらすこともあり、まして自分、家族、隣人の命に万一のことでもあれば、お金にはかえられないことではないでしょうか。↗

<相談窓口> 耐震改修工事を検討中の方は・・・

- ハウススクエア横浜3F「住まいの相談カウンター」
NPO 法人 横浜市住宅リフォーム促進協議会
☎045-912-7474
受付時間 11:00～17:00 (水曜日定休)
- 横浜市建築事務所協会「耐震改修計画相談」係
(電話予約制の相談コーナー)
☎045-662-2711
受付時間 平日9:00～12:00 13:00～16:00



当ページのお問い合わせ、ご質問は自治会防災・防犯委員会へ：902-7003